

おくりがな

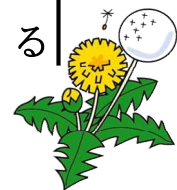
年 組 なまえ

◎ふとい字のぶぶんをおくりがなにちゅういしてかん字で書きましょう。



海がひろがる

パンをたべる



①

②

数をかぞえる

こたえる

③

④

あかるい

いけんがわかれる

⑤

⑥

あたらしい

すくない

⑦

⑧

かんがえる

おしえる

⑨

⑩

力をあわせる

こまかいつぶ

⑪

⑫

おくりがな

こたえ

年 組 なまえ

◎ふとい字のぶぶんをおくりがなにちゅういしてかん字で書きましょう。



海がひろがる

パンをたべる

① 広がる

② 食べる

数をかぞえる

こたえる

③ 数える

④ 答える

あかるい

いけんがわかれる

⑤ 明るい

⑥ 分かれる

あたらしい

すくない

⑦ 新しい

⑧ 少ない

かんがえる

おしえる

⑨ 考える

⑩ 教える

力をあわせる

こまかいつぶ

⑪ 合わせる

⑫ 細かい



形がにているかん字

年 組 なまえ

◎ 太字のぶぶんにちゅういしてかん字で書きましょう。

うち

はこのがわ

にく

やき

おやごころ

しんかんせん

幹

でんち

かん

ちか

てつ

もん

家の

あいだ

休みの

き

話をく

えほん

ざいく

ガラス

しんぶんし



形がにているかん字

こたえ

年 組 なまえ

◎ 太字のぶぶんにちゅういしてかん字で書きましょう。

は
こ
の

内

うち

が
わ

や
き

肉

にく

親

心

お
や
ご
こ
ろ



新

幹

線

し
ん
か
ん
せ
ん

か
ん

電

池

で
ん
ち

地

下

ち
か

て
つ

家
の

門

も
ん

休
み
の

間

あ
い
だ

話
を

聞

き

く



絵

本

え
ほ
ん

ガ
ラ
ス

細

工

ざ
い
く

新

聞

紙

し
ん
ぶ
ん
し

◎ふたひの字のところにちゅういしてかん字を書きましよう。

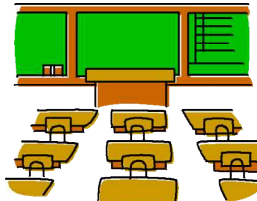
①

	まる		まる
	い		い
	玉		さら

③

	き		き
	よう		よう
	り		り
	よく		よく

な
み
か
た



⑤

	こ		え
	う		ん
	え		ん
	ん		ん



⑥

	こ		かん
	う		
	つ		こう
	う		バス

④

	し		し
	ん		ん
	ゆ		に
	う		ゆう
			せい
			い

②

	ど		ど
	う		う
	ろ		じ

◎ふとい字のところにちゅういしてかん字を書きましょう。

①

丸	まる	円	まる
い		い	
玉		さ	
		ら	

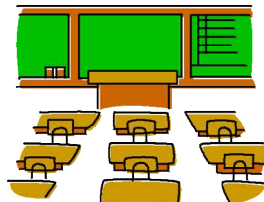
②

道	どう	同	どう
		時	じ



③

強	きょう	教	きょう
力	りよく	室	しつ
な			
み			
か			
た			



④

親	しん	新	しん
友	ゆう	入	にゅう
		生	せい

⑤

公	こう	遠	えん
園	えん	足	そく



⑥

交	こう	光	かん
通	つう		こう
		バ	
		ス	

◎ 太字のところにちゅういしてかん字を書きましょう。

①

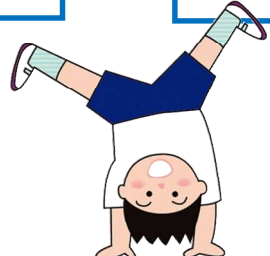
	と		は
	も		な
と		し	
あ		あ	
う		う	

③

と	せ
し	き
が	を
あ	あ
ける	ける

⑤

	そ		げ
	う		ん
	げ		き
	ん		



②

	だ		き
	い		よ
どころ			う
			だ
			い

④

	て		て
	ん		ん
す		い	
う		ん	
		さん	



⑥

車	は
の	ん
	ば
	い
	する
	ば
	い

㊦ 太字のところこちゅういしてかん字を書きましょう。

①

友

とも

話

はな

と

し

会

あ

合

あ

う

う

③

としが

せきを

明

あ

空

あ

ける

ける

⑤

草

そうげん

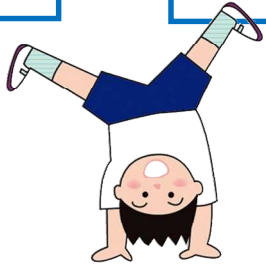
原

元

げん

気

き



⑥

車の

はん

売

ばいばい

売

ばい

する

買

④

点

てんすう

数

店

てん

いんさん



②

台

だい

どころ

兄

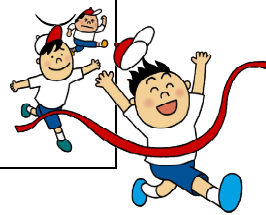
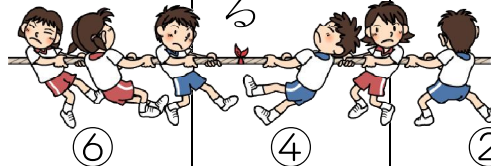
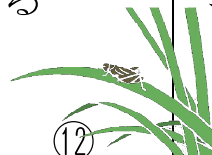
きょうだい

弟

年 組 なまえ

◎（ ）によりみ方を書きましよう。

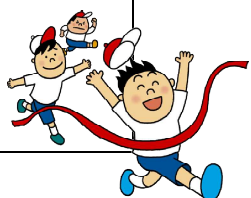
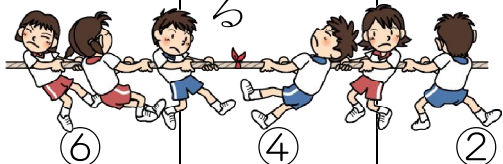
① 力強く歩む ()	② ゴールまで力走する ()	③ チーム一丸となる ()	④ 見聞を広める ()	⑤ 顔めんをうつ ()	⑥ 雨天でもでかける ()	⑦ 十人十色 ()	⑧ 正直にあやまる ()	⑨ 黄金の鳥にであう ()	⑩ 千代紙でつるをおる ()	⑪ 虫の音に秋を知る ()	⑫ 百人一首のかるた ()	⑬ 早朝にでかける ()	⑭ 百点を取ると広言する ()	⑮ 売買をする ()	⑯ 頭上にちゅうい ()
-------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	--------------------	----------------------	------------------	---------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	------------------------	-------------------	---------------------



年 組 なまえ

◎ () によみ方を書きましよう。

①	(あゆ) 力強く歩む	(りきそう) ゴールまで力走する
③	(いちがん) チーム一丸となる	(けんぶん) 見聞を広める
⑤	(がん) 顔めんをうつ	(うてん) 雨天でもでかける
⑦	(じゅうにんという) 十人十色	(しょうじき) 正直にあやまる
⑨	(おうごん) 黄金の鳥にであう	(ちよがみ) 千代紙でつるをおる
⑪	(ね) 虫の音に秋を知る	(ひゃくにんいっしゅ) 百人一首のかるた
⑬	(そうちよう) 早朝にでかける	(こうげん) 百点を取ると広言する
⑮	(ばいばい) 売買をする	(ずじよう) 頭上にちゅうい



年 組 なまえ

◎ () によみ方を書きましょう。

①

方言で話す

②

楽なしごと

③

えんぴつで記す

④

魚市場

⑤

テストに合かくする

⑥

来年は三年生です

⑦

そばの形見

⑧

あてが外れる

⑨

先頭になる

⑩

後まわしにする

⑪

外のい見をきく

⑫

寺いんの見がく

⑬

動作が早い

⑭

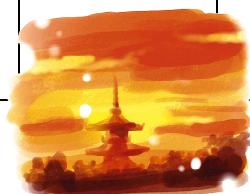
細心のちゅうい

⑮

行く手をじゃまする

⑯

戸外であそぶ



年 組 なまえ

◎ () によみ方を書きましょう。

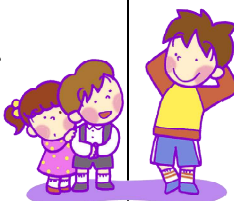
① (ほうげん)
方言で話す



② (らく)
楽なしごと

③ (しる)
えんぴつで記す

④ (うおいちば)
魚市場



⑤ (ごう)
テストに合かくする

⑥ (らいねん)
来年は三年生です

⑦ (かたみ)
そばの形見

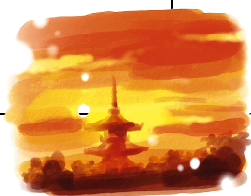
⑧ (はず)
あてが外れる

⑨ (せんとう)
先頭になる

⑩ (あと)
後まわしにする

⑪ (ほか)
外のい見をきく

⑫ (じ)
寺いんの見がく



⑬ 動作が早い



⑭ (さいしん)
細心のちゅうい

⑮ (ゆ)く(て)
行く手をじゃまする

⑯ (こがい)
戸外であそぶ



年 組 なまえ

◎ () によみ方を書きましょう。

①

秋分の日

②

社にもうでる

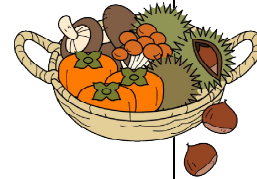


③

月の引力

④

親しい友人



⑤

計算きを用いる

⑥

昼食を食べる



⑦

新雪にねころぶ

⑧

鳥の羽音

⑨

絵画をかん賞する

⑩

八月の半ば

⑪

雲海をながめる

⑫

春分の日



⑬

二わり五分引き

⑭

句読点

⑮

明朝早く起きる

⑯

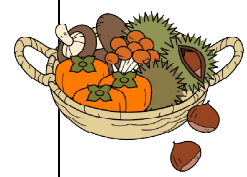
子ども用の読本

年 組 なまえ

◎ () によみ方を書きましょう。

① (しゅうぶん)

秋分の日



② (やしろ)

社にもうでる



③ (いんりよく)

月の引力

④ (した)

親しい友人



⑤ (もち)

計算きを用いる

⑥ (ちゅうしょく)

昼食を食べる

⑦ (しんせつ)

新雪にねころぶ

⑧ (はおと)

鳥の羽音

⑨ (かいが)

絵画をかん賞する

⑩ (なか)

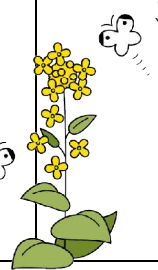
八月の半ば

⑪ (うんかい)

雲海をながめる

⑫ (しゅんぶん)

春分の日



⑬ (ごぶ)

二わり五分引き

⑬ (くどうてん)

句読点

⑮ (みょうちよう)

明朝早く起きる

⑮ (とくほん)

子ども用の読本

めざせ かん字マスター (かきとり①)

年 組 なまえ

◎ _____ のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。

①

きしやをまつ

③

じかんをはかる

⑤

教室のこうほうにおく

⑦

しかくけいのはこ

⑨

はんズボン

⑪

ほうげんで話す

⑬

晴れのちくもり

⑮

しゆくだいをおそわる

②

あとにつづく

④

のはらで虫をとる

⑥

王さまとけらい

⑧

宝くじがはずれる

⑩

えんそくに行く

⑫

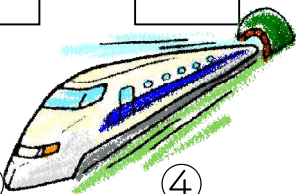
先生とコンビニであう

⑭

じいんを見学する

⑯

こうだいなとち



年 組 なまえ

◎ のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。

①

汽車

②

後

きしゃをまつ

③

計る

④

野原

じかんをはかる

⑤

後方

⑥

後方

教室のこうほうにおく

⑦

四角形

⑧

外れる

しかくけいのはこ

⑨

半

⑩

遠足

はんズボン

⑪

方言

⑫

会う

ほうげんで話す

⑬

後

⑭

寺

晴れのちくもり

⑮

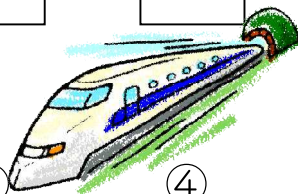
教わる

⑯

広大

しゆくだいをおそわる

こうだいなとち



めざせ かん字マスター (かきとり②)

年 組 なまえ

◎ _____ のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。



①

むぎちやをのむ

③

うつくしいこうけい

⑤

しけんにごうかくする

⑦

さるかにがつせん

⑨

どうさがはやい

⑪

ノートにしるす

⑬

そふのかたみ

⑮

さいしんのちゅうい



②

いちがんとなる

④

さんこうしよをかう

⑥

しんせつなお兄さん

⑧

作りなおす

⑩

せんとうを走る

⑫

こがいであそぶ

⑭

土とすながまじる

⑯

そのほかのれいをさがす



年 組 なまえ

◎ ————— のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。



①

麦茶

②

一丸

むぎちやをのむ

いちがんとなる

③

光景

④

考書

うつくしいこうけい

さんこうしよをかう

⑤

合

⑥

親切

しけんにごうかくする

しんせつなお兄さん

⑦

合

⑧

直す

さるかにがっせん

作りなおす

⑨

動作

⑩

先頭

どうさがはやい

せんとうを走る

⑪

記す

⑫

戸外

ノートにします

こがいであそぶ

⑬

形見

⑭

交じる

そふのかたみ

土とすながまじる

⑮

細心

⑯

外

さいしんのちゅうい

そのほかのれいをさがす



混じる
【5年生】
他
【3年生】
を書いたものも
○とする。

めざせ かん字マスター (かきとり③)

年 組 なまえ

◎ ————— のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。



①

かん字のぶしゆ

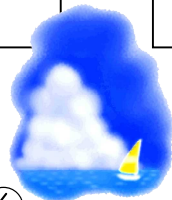
③

せきらんうんが近づく

④

ひめいがあがる

②



⑤

野山にしんせつがつもる

⑥

しゅんぶんの日

⑦

ペンをもちいる

⑧

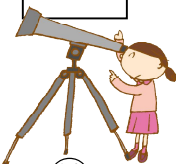
学級のそしき

⑨

八月のなかば

⑩

月のいんりよく



⑪

おんせいを小さくする

⑫

みようちよう早おきする

⑬

くとうてんをうつ

⑭

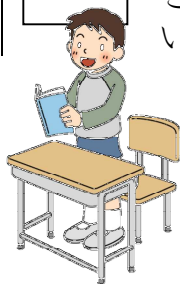
ただちに集まりなさい

⑮

しょうぶはごぶとごぶだ

⑯

おかし使ったとくほん



めざせ かん字マスター（かきとり③） こたえ

年 組 なまえ

◎ _____ のところをかん字で書きましょう。

おくりがなのあるものはおくりがなを正しく書きましょう。



① 首

かん字のぶしゅ

③

雲



④

電池

ひめいがあがる

②

鳴

⑤

新雪

野山にしんせつがつもる

⑥

春分

しゅんぶんの日



⑦

用いる

ペンをもちいる

⑧

組

学級のそしき

⑨

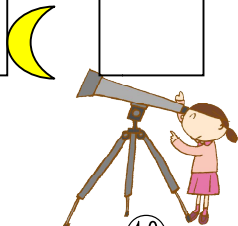
半ば

八月のなかば

⑩

引力

月のいんりよく



⑪

音声

おんせいを小さくする

⑫

明朝

みようちよう早おきする

⑬

読点

くとうてんをうつ

⑭

直ちに

ただちに集まりなさい

⑮

五分

しょうぶはごぶとごぶだ

⑯

読本

おかし使ったとくほん



かん字で作文 れいだい

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字をたしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

家 父 母 弟 妹

わたしの家ぞくをしょうかいます。

わたしの家はお父さんとお母さんと弟と妹とわたしの

五人家ぞくです。弟はこの四月にちばっこ小学校に入学

した一年生です。学校がだいすきです。妹はもうすぐ一

さいになります。はいはいができるようになり、わたしと

弟の後をついてくるのでとてもかわいいです。
あと

お父さんはお休みの日にはわたしたちを公園につれてい

ってください。弟とわたしはすべり台であそびます。

わたしは家ぞくとすごす日曜日が大き

きです。

かん字をたくさん使えるように
がんばりましょう！おはなしは
とちゅうまででもいいですよ。



かん字で作文 れんしゅう

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を
たしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

家 父 母 弟 妹

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ほんとうにあったはなし
でなくてもいいのよ。
楽しんでつくってね。



かん字で作文 れんしゅう

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を
たしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

家 父 母 弟 妹

ほんとうにあったはなしでなくともかまいません。
楽しんでつくってください。

※えを書きましょう。

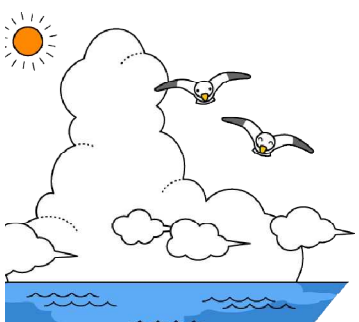
かん字で作文①

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を

たしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

海 船 晴 魚 明



かん字で作文①

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を

たしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

海 船 晴 魚 明

※えを書きましょう。

かん字で作文①

れい

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を
たしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

海 船 晴 魚 明

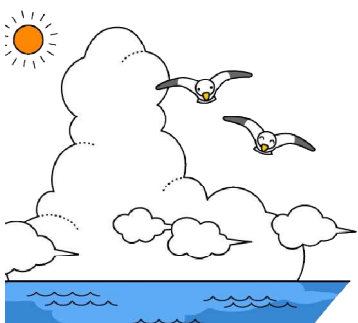
空が明るくなってきました。夜明けです。空は晴れわた
って海の遠くを船が通っていくのがはっきりと見えます。
「海がきれいだ。さあ、すばらしい一日がはじまるぞ。」
かもめのあおたは言いました。

「遠くの船もよく見える。今日はどこへ行こうかしら。」
かもめのももこはたずねます。

「うん。海のおこう。波のおこう。空と海の青が一つにな
ってどんな船もたどりつけない、なみの

むこうにお魚じまがあるんだ。そこには
お魚キングがいて、たくさんの魚たちと

明るくしあわせにくらしているんだ。」



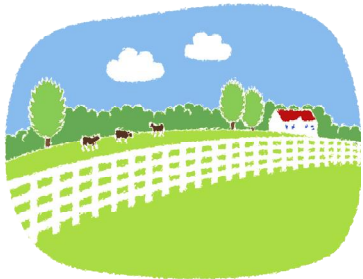
かん字で作文②

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を

加えても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

原 走 広 遠 高



かん字で作文②

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を加えても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

原 走 広 遠 高

※えを書きましょう。										

かん字で作文②

れい

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を加えても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

原 走 広 遠 高

「ごらん、**遠**くの空を雲がながれていくよ。」

「ほんとう。秋は空が**高**いね。**遠**くまですみわたって思わず

走り出したくなるよ。それでもこの**草原**は広くて広くて。」

今年の春に生まれた子馬のたろうとじろうはなかよく走りなが

ら話をしています。**野原**をふく風はすっかり秋です。**遠**くの山も

はつきり見えます。**走**っても**走**っても**原**っぱは切れることがあります

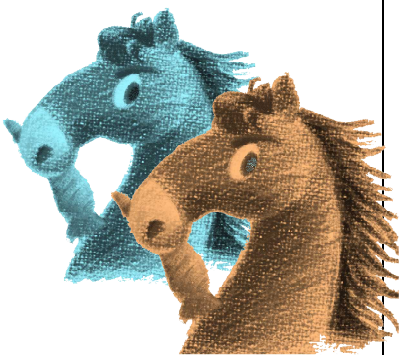
ません。

「ずいぶん**遠**くまできたんだね。兄さん。」

「この**野原**でさえこんなに広いんだもの。」

ぼくたちがすむこのせかいはとても**広**く

て、そのはては**遠**くにあるんだ。」(つづく)



かん字で作文③

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を
たしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

雪 雲 風 鳥 流



かん字で作文③

年 組 なまえ

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を
たしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

雪 雲 風 鳥 流

※えを書きましょう。										

かん字で作文③

年 組 なまえ

れい

◎ のかん字をすべて使って、「おはなし」を作りましょう。ほかのかん字を
たしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何回使ってもかまいません。

雪 雲 風 鳥 流

「お母さん。風が強くなってきたわ。雪が風に流されて前が見えない。」

「がんばるのよ。風にまけないで。雪にまけないで。もっとはばたいて。」

雲が重くたれこめた、北の国を白鳥のお母さんと白鳥の子どものスワン

はお父さんをさがして今日も雪ふる中を風におかたってたびを続けます。

「風に流されるわ。もうとべない。雪が重い。雪がつめたい。」

スワンはお母さんに話します。雪雲がはやくはやく流れていきます。

「ああ、せめてあの雲にのれたら。あの雲ではねを休められたら。」

「スワン。もう少しよ。あの雪の谷をこえて、風の生まれる黒い森をこえ

たら、あたたかないずみが流れ出る七色のみずうみ

があるわ。そこは雪もなく、風もなく、鳥たちがしあ

わせにくらす春の鳥の森。そこにお父さんはいるわ。」



かん字で作文④

年 組 なまえ

◎ 習ったかん字五つをえらんで、すべてを使って「おはなし」を作りましょう。

ほかのかん字をたしても、どのかん字から使っても、同じかん字を何度使って

もかまいません。

えらんだかん字

